

# 桜高新聞

## 本校で2度目の出場 総合開会式に澤田さん

信州総文



本校新聞部は8月7日から11日にかけて長野県内で行われた信州総合文化祭に参加した。今年は総合開会式に石川県代表として澤田真優さん(208H)が石川県の魅力についてのアピールを行った。澤田さんは、石川県代表として出場したことについて「石川県の代表として全国の舞台に立たせていただけたことはとても光栄なことであり、素晴らしい経験となりました」

**紙面紹介**  
本校新聞部が参加した第42回全国高等学校総合文化祭信州総文2018について特集しました。

と笑顔だった。また、「本番では今までにないくらい緊張してアピールの言葉にも詰まりましたが、最後まで諦めずに言うことができました。石川県代表としては少し頼りなかったですが、大きな舞台で自分の役割を全うできたことは私にとって自信になりました。このような経験ができたことをとてもうれしく思っています」と自信に満ちた表情で語ってくれた。



交流新聞を班員とともに作成する齋藤さん

また、総合開会式を観覧していた齋藤有芽さん(202H)は

澤田さん「開催の信州総文にかけると、感動が溢れる。特に、最後の大会の歌が強く印象に残っています」と感動の余韻に浸っていた。

### 新聞部

新聞部が8月7日から11日にかけて若里市民文化ホールで行われた。本校から新聞部門に4人が参加した。新聞部門では、全国の新聞部員、新聞委員会の代表が集まり、班別に分かれて長野市と周辺の各地取材に行き、その情報を元に交流新聞を作成する。また、日頃の活動の成果である壁新聞を展示することで他県の新聞の工夫を知ることが出来る。そのような活動を通して、他県の新聞部員と

交流を深めることができる。

新聞部門に参加した本校の2人に生徒にインタビューを行った。

○廣瀬千愛さん(102H)

他県の新聞部員との交流や新聞作成を通して様々なことを学び、良い刺激になりました。貴重な経験ができてうれしかったです。今回の活動で学んだことを生かしていきたいです。

○中島唯さん(203H)

他県のいろいろな新聞技術を学ぶことができ、とてもためになりました。新聞技術以外にも、各地の方言や文化なども学ぶことができ、とても楽しかったです。班別に別れての長野での取材では、今まで知らなかった長野の魅力に触れることができ、よかったです。

### 編集後記

今回の新聞部紹介号では、信州総文の開会式と新聞部門の参加について特集しました。

これからも、部員全員が一丸となってより良い新聞作りを目指して誠心誠意がんばっていきます。今後とも桜高新聞をどうぞよろしくお願いたします。

編集・発行 新聞部